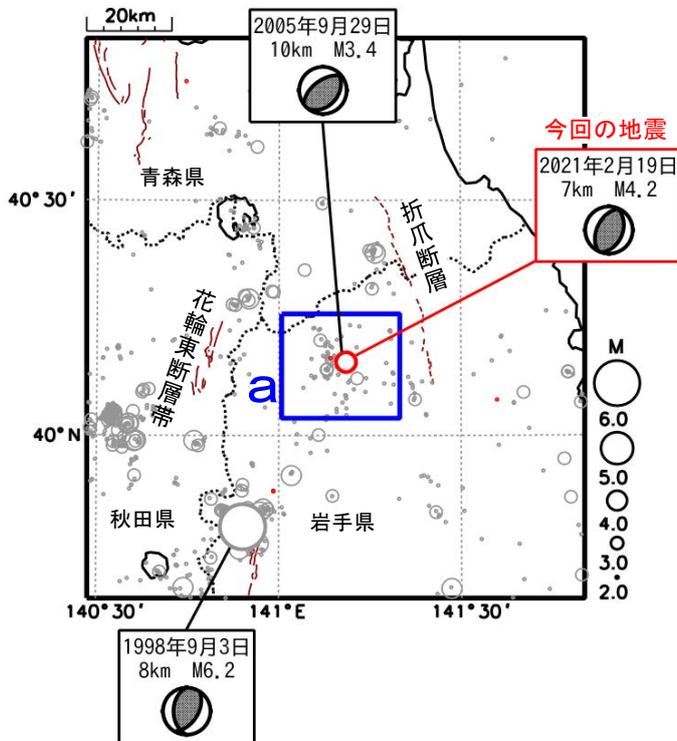


## 2月19日 岩手県内陸北部の地震

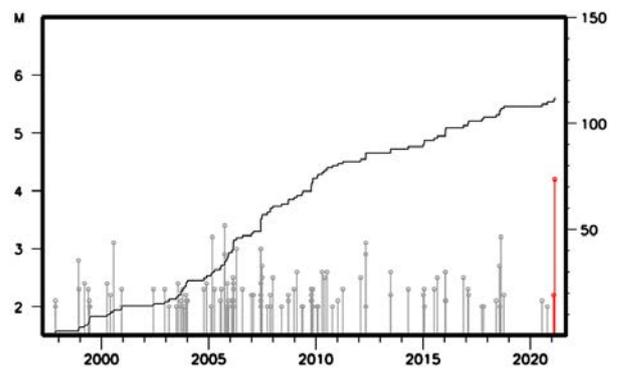
震央分布図  
(1997年10月1日～2021年2月28日、  
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
2021年2月の地震を赤色で表示



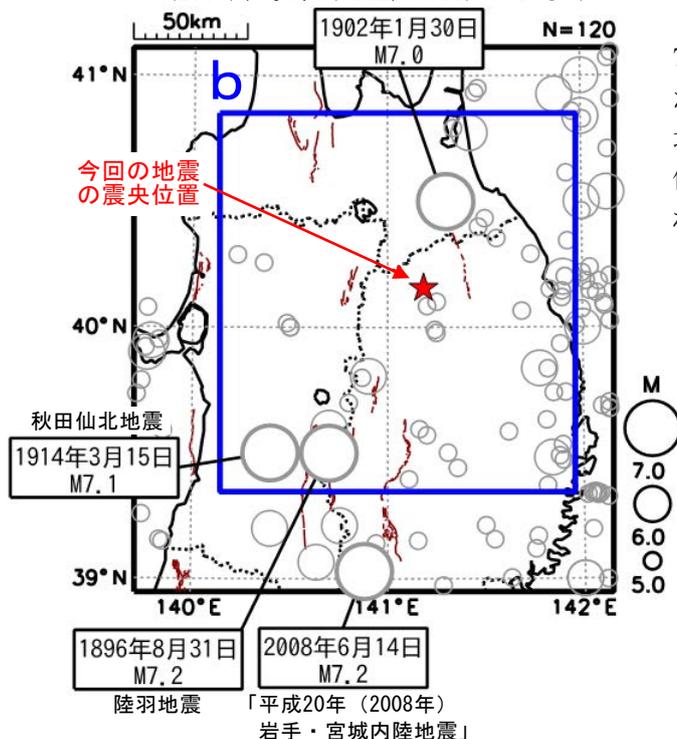
2021年2月19日18時11分に岩手県内陸北部の深さ7kmでM4.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、今回の地震の発生前にM4.0以上の地震は発生していなかった。

領域a内のM-T図及び回数積算図

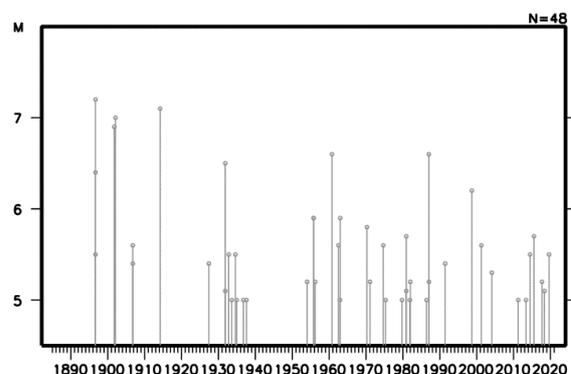


震央分布図  
(1885年1月1日～2021年2月28日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )  
(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津  
(2001)、宇津 (1982, 1985) による※)



1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM6.0以上の地震が時々発生している。このうち、1896年8月31日に発生した陸羽地震（M7.2）では、死者209人、負傷者779人、家屋その他建物全潰5,992棟などの被害が生じた。また、1914年3月15日には秋田仙北地震（M7.1）が発生し、死者94人、負傷者324人、住家全潰640棟などの被害が生じた（被害はいずれも「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図



震央分布図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

※宇津徳治 (1982)：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，56，401-463。

宇津徳治 (1985)：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642。

茅野一郎・宇津徳治 (2001)：日本の主な地震の表，「地震の辞典」第2版，朝倉書店，657pp。